

(全体総括)

『おいしいものをいつまでも食べられる(食べに行ける)』ことを目標に口腔体操などを取り組み始めたが、職員間の引継ぎがうまくいかず実施が遅れた。しかし、引継ぎ方法を見直すことで勤務日数の少ない職員へも情報が伝わりやすくなった。
 また、活動参加の少ない方にイベント食の箸袋作成を手伝っていただくことで、職員も助かり、ご本人も「役に立ててよかった」とイベント食を楽しみにされる様子が見られた。定期的にイベント食があるため、継続的に実施できる役割のある活動が提供できた。今後も個別支援を継続し、ハーブ入居者様全員に役割のある生活を送っていただくよう努める。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
部屋に閉じこもりがちの方がいるため、変化のある生活を送っていただく	参加したくなるサークルを作る	1週間に一度趣味や社会貢献などの社会参加をしている人が50人中25人	1週間に一度の活動10月25名、11月未確認、12月26名 活動不参加10月7名、12月4名(入院2名含む)。11月は活動参加のチェックが行えていなかったため12月より担当以外もチェックするよう変更した。	個別評価を継続して行い。継続して実施できる活動を検討する。
ハーブ来園者を増やすことで認知度を上げ、待機者を増やす	①ボランティア数 ②ハーブ設備使用者数 ③待機者数	①ボランティア数 14名 ②ハーブ設備使用者数 10名/月 ③待機者数 常に5名	①②ともに0名 ③待機者数 10、11、12月5名	①②はコロナウイルス感染状況を見ながら検討 ③12月に1名入居され1月は待機者4名となる。ハーブ目標『おいしいものをいつまでも食べられる(食べに行ける)』のPRが行えるよう、口腔機能維持・向上を継続する
退去・転居ゼロとなるよう、認知症予防を行う	ADL・IADL状況の向上	向上者 5名	向上者 0名 グループホームへ申込をされている方が2名	個別支援評価をケアカンファレンス時に活用する
食欲が落ちると体力も落ちるため、食べたい思いを持ち続けていただく	各イベント終了後(食後)に投票を行い、「また食べたい」票を増やす	また食べたい票35以上	また食べたい票数、10月天ぷらそば(うどん)御膳30票、ハーブでお祭りごはん36票、11月郷の旬彩58票、12月きりたんぼ鍋32票	今後も入居者様の声を聴きながらメニューを検討

【運営報告】

事業所名：ハーブガーデン新十津川

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数（ケア）		1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,395	1,550	1,520
基準人数（特定）		540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558	548
延利用人数（ケア）	R1	1,467	1,317	1,317	1,492	1,519	1,500	1,543	1,500	1,518	1,550	1,421	1,538	1,474
	R2	1,482	1,550	1,450	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,395	1,538	1,514
延利用人数（特定）	R1	540	455	430	469	552	537	545	532	545	557	479	541	515
	R2	504	550	522	532	542	539	540	530	547	558	504	541	534
稼働率（ケア）	R1	97.8%	85.0%	87.8%	96.3%	98.0%	100.0%	99.5%	100.0%	97.9%	100.0%	101.9%	99.2%	96.9%
	R2	98.8%	100.0%	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	99.6%
稼働率（特定）	R1	100.0%	81.5%	79.6%	84.1%	98.9%	99.4%	97.7%	98.5%	97.7%	99.8%	95.0%	97.0%	94.1%
	R2	93.3%	98.6%	96.7%	95.3%	97.1%	99.8%	96.8%	98.1%	98.0%	100.0%	100.0%	97.0%	97.6%
収入（ケア） （単位：千円）	R1	6,916	6,586	6,436	6,518	6,694	6,605	7,113	7,154	7,103	7,134	7,107	6,782	6,846
	R2	7,241	6,846	6,452	6,616	6,639	6,659	8,277	6,858	7,088	7,056	7,063	4,812	6,801
収支差額（ケア） （単位：千円）		1,828	1,355	-1,102	879	805	-361	2,829	792	-977	681	-885	-13,179	-611
収入（特定） （単位：千円）	R1	3,529	3,234	2,878	2,870	3,028	3,635	3,354	3,254	3,104	3,758	2,863	3,322	3,236
	R2	3,003	3,457	2,826	3,648	3,297	3,279	3,972	3,221	3,324	3,469	3,027	3,206	3,311
収支差額（特定） （単位：千円）		240	863	-445	868	688	766	1,403	632	-555	649	395	-499	417
職員数	正規	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0
	有期	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	パート	8	8	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8.3

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
給食会議	R3.1.14	GH：田中・長田 ハーブ：西川・西島	①特別メニュー（ハーブ・グリーンハウス・イベント）の実施報告と次回予告 ②残菜調査に、入居者様がお膳にのせなかった（拒否した）メニューが反映されていないことから、どなたが何を拒否したかも確認し、メニューや栄養状態に活かしていく ③給食委託業者見直しのため、3社から見積と企画書を取り寄せ検討。次年度もGHに委託することとなる。
職員会議	R3.1.21	西川・久保田・有澤・西島・下口・美濃・府榮野	①おいしい食事を摂っていただくための口腔機能維持時について。毎月、健康チェック開始前に口腔講座を実施 ②医療機関連携加算について、通院状況表を作成。夜間看護体制について振興局へ確認中 ③業務効率の見直しとして、相談員業務を行える時間を引き続き調整
給食会議	R3.2.19	GH：長田 ハーブ：西川・西島	①特別メニュー（ハーブ・グリーンハウス・イベント）の実施報告と次回予告 ②先月から入居者様がお膳にのせなかった（拒否した）メニューの調査を開始したことにより、嗜好調査では聞き出せなかった好き嫌いを把握し対応することができた ③スチコンの調理時間が把握できてきたため、料調理開始時間の調整を行い、入居者様に出来立てを食べていただく
職員会議	R3.2.17	西川・久保田・有澤・西島・岡部・下口・笹	①おいしい食事を摂っていただくための口腔機能維持時について。口腔体操の継続と、特定入居者様より口腔ケアの状況確認を実施 ②医療機関連携加算について、通院状況表を作成し随時調整中。夜間看護体制について看護師2名と面談。令和3年4月から取得できるよう書類作成 ③業務効率の見直しとして、相談員業務の引継ぎ状況と業務時間、手順を確認。面談を実施
職員会議	R3.3.15	西川・久保田・西島・高橋・府榮野・美濃・千葉	①おいしい食事を摂っていただくための口腔機能維持時について。入居者様の口腔ケアの状況確認は4月よりケアカンファレンス時に実施する ②医療機関連携加算申請済み。3月中に特定利用者様に説明し同意をいただく。4月に職員研修を行う ③特定利用者様の支援見直し。1単位を20分と考え、元気になっていただくための支援を検討し実施
給食会議	R3.3.17	GH：長田 ハーブ：西川・西島	①特別メニュー（ハーブ・グリーンハウス・イベント）の実施報告と次回予告 ②パンの日にジャムとマーガリンを多く持ち帰る方がおり調査を実施。現在はジャムとマーガリン各1としているが、ジャム2つを必要とする方がおり、今後はどちらでも2個以内に変更 ③GH長田栄養士が札幌に転勤され、令和3年度から関米養士が着任

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症予防委員会	R3.1.15	久保田・西島・中川・橋・高橋・美濃・下口・笹	①感染拡大防止集中対策期間延長と一部緩和入居者 ・場所、時間を設定し面会可 ・町内での買い物バス再開 職員 ・出勤前と午後の体温測定、着替えの継続 ・不要不急の外出制限 ・長時間、5名以上の会食を伴う席への参加自粛 ・警戒レベルが高い（札幌市など）地域への往來の自粛
感染症予防委員会	R3.2.15	西川・久保田・西島・中川・高橋・笹・府榮野	①北海道コロナ感染拡大防止集中対策期間延長による対応 ・感染拡大防止集中対策期間の延長 ・面会場所をより換気の良い場所へ変更
感染症予防委員会	R3.3.1	久保田・有澤・西島・西川・下口・荒木・府榮野・鹿島	①北海道コロナ感染拡大防止集中対策期間解除による対応 ・各自室での人数と時間を制限しての面会可 ・マスク着用、帰宅後の手洗いうがい実施により外出可（流行地域以外） ・施設以外での複数名での飲食は制限
感染症予防委員会（臨時）	R3.3.5	久保田・有澤・中川・高橋・荒木・鹿島	①入居者様の法事参加希望について検討 ・法事内容：13名の列席で内2名が札幌在住。会食を伴う ・依頼事項：列席者の健康管理、体調確認を依頼。法事後は7日間は、他入居者様との交流を避ける（食事、入浴時間の変更）
事故予防委員会	R3.1.25	西川・久保田・高橋	①ヒヤリハット、事故報告と経過の確認、検討 ・薬袋を1日分切り離す際に袋が破れ、錠剤が飛び出してしまふヒヤリハットが数回有。ご本人様と相談し、職員支援による1週間毎の薬設置を実施。 ・服薬確認の職員引継ぎもれ有。服薬確認を行う職員を事前に決定。
事故予防委員会	R3.2.24	西川・久保田・高橋	①ヒヤリハット、事故報告と経過の確認、検討 ・服薬時、薬袋を破る際に錠剤が落下してしまうヒヤリハットが数回有。まずは錠剤を薬袋下方に寄せる支援を行い、改善が見られなければカップに移す支援に変更。
事故予防委員会	R3.3.25	西川・久保田・高橋	①ヒヤリハット、事故報告と経過の確認、検討 ・服薬時の薬落下の対策として、カップに錠剤を移しての服薬を提案 ・最近、薬持参忘れや日付間違いが見られる方がいる。服薬前の日付確認、服薬確認支援を行っているため誤薬につながっていないが、日常生活も含め様子観察が必要
身体拘束虐待防止委員会	R3.2.17	西川・有澤・岡部・笹・美濃	①身体拘束及び虐待の有無確認 ・報告なし ②事例検討 ・対象者：自分の気に入らない入居者に対する暴言のある方 ・検討結果：大声や暴言を吐かないよう注意した後、氏の思いを聞き取る。経過はケアカンファレンスにて追う。
身体拘束虐待防止委員会	R3.3.17	西川・久保田・中川・高橋・岡部・笹	①身体拘束及び虐待の有無確認。 ・報告なし ②令和2年度の反省 ・年間計画が月間予定に反映され辛いため、開催漏れがないように注意が必要 ・スピーチロックの事例検討が主であった。検討することで対応が統一できたり、他職員の対応を学ぶことができたりと参考になった。 ・外部研修に参加したが、内部研修につなげることができなかった。今年度の開催は難しいが、来年度開催する。

令和2年度（1月～3月） 行事 事業所名：ハーブガーデン新十津川

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
映画上映会	R3.1.1 ～ R3.1.3	16名	入居者15名・職員1名
季節湯で温泉気分	R3.1.8	52名	入居者49名・職員3名
初詣	R3.1.1	7名	入居者5名・職員2名
新年会	R3.1.16	52名	入居者47名・職員5名
節分	R3.2.3	52名	入居者49名・職員3名
ハーブランタン	R3.2.19	52名	入居者49名・職員3名
及川キミエ様110歳お誕生会	R3.2.22	44名	入居者35名・職員9名
カラオケレク	R3.3.20	25名	入居者23名・職員2名
運動レク	R3.3.23	30名	入居者27名・職員3名

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者

令和2年度 事業目標と結果 (事業所名：リハビリング・ハーブ)

(全体総括)

新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた老人会を対象とした内覧会が実施出来ていない。感染の不安から外出禁止となる施設の入居者や外出を自粛する利用者が多く、キャンセル数が増加している。
 職員、利用者から感染者、クラスターを出さないために、また、安心して通所していただくために、外部の専門化をお呼びし利用者も参加していただき研修会を開催しました。また、フロア内、車両内の消毒や換気を徹底し、感染予防対策を行っている旨を見学者、居宅、SNS等でも配信しています。
 来年度は、疾患（脳梗塞）に特化した新たなプログラムの向上を図り、集客に結び付けたい。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
パワーリハビリテーションが脳梗塞・パーキンソン病などの疾患に大きな効果をもたらすことへの認知度が居宅のケアマネジャーに低い。	脳梗塞後遺症利用者数	6名/年	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 1名 ・2月 1名 ・3月 1名 	脳梗塞に特化したプログラムを提供することにより、改善効果を上げる
	事例数	15件/年	脳梗塞5名 パーキンソン病5名作成し配信開始	見学者、ご家族、居宅等へ配信できる事例を出す
収入の向上	契約数	・30件/年	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 2名 ・2月 1名 ・3月 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議での改善のフィードバック(居宅ケアマネ等) ・パンフレット配布場所開拓 ・利用者宣伝部長発掘 ・独自のホームページ立ち上げ ・YouTube動画配信 ・脳梗塞セミナー開催(脳梗塞になった人、なりたくない人対象のリハビリと健康相談等)

【運営報告】

事業所名： リハ ヒーリング・ハーブ

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		880	840	920	920	840	880	880	840	800	800	800	880	857
延利用人数	R1	487	476	416	482	408	441	445	443	463	417	416	368	439
	R2	391	391	422	483	460	518	542	453	458	405	407	528	455
稼働率	R1	55.3%	56.7%	45.2%	52.4%	48.6%	50.1%	50.6%	52.7%	57.9%	52.1%	52.0%	41.8%	51.3%
	R2	44.4%	46.5%	45.9%	52.5%	54.8%	58.9%	61.6%	53.9%	57.3%	50.6%	50.9%	60.0%	53.1%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	2,670	2,473	2,725	2,601	2,362	2,554	2,377	2,607	2,603	2,525	2,399	2,057	2,496
	R2	2,201	2,178	2,359	2,632	2,581	2,995	4,075	2,812	2,538	2,311	2,386	1,880	2,579
	R2 (フィットネス)	35	18	9	40	39	112	78	58	50	30	36	36	45
当期資金収支差額 (単位：千円)		281	171	-26	362	434	938	824	635	-159	161	438	-4,022	3
職員数	正規	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	有期													-
	パート	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11.7

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：リハヒーリング・ハーブ

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
全体ミーティング	R3.1.8	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 塚原	1.報告・連絡事項（担当者会議、お試し新規利用者、利用終了者について、事故ヒヤリハット報告） 2.検討事項（個人記録の特記について、新規利用者連絡帳確認、酸素BOX利用増について・その他） 3.感染・事故対策委員会より 4.アメンバー経営会議（収支経費実績報告・次月予定）
全体ミーティング	R3.2.7	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	1.報告・連絡事項（担当者会議、お試し新規利用者、利用終了者について、事故ヒヤリハット報告） 2.検討事項（利用者間の物のやり取りについて、個人ファイル取り扱いについて、ベット・メドマーについて・その他） 3.感染・事故対策委員会より 4.アメンバー経営者会議（収支経費実績報告・次月予定）
全体ミーティング	R3.3.6	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	1.報告・連絡事項（担当者会議、お試し新規利用者、利用終了者について、事故ヒヤリハット報告） 2.検討事項（利用者Y氏の対応について、酸素BOXの環境整備について） 3.感染・事故対策委員会より 4.アメンバー経営者会議（収支経費実績報告・次月予定）

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染対策委員会	R3.1.8	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 塚原	・地域感染症状況について ・コロナウイルス感染拡大予防について（送迎時体温確認の周知徹底） ・インフルエンザについて
感染対策委員会	R3.2.7	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	・地域感染症状況について ・コロナウイルス感染拡大予防について（感染症対策DVD鑑賞）
感染対策委員会	R3.3.6	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	・地域感染症状況について ・コロナウイルス感染拡大予防について（感染症専門講師を招いて実技演習・反省会）
災害対策委員会	R3.3.6	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	・地域感染症状況について（災害備品の確認・補充）
事故再発防止委員会	R3.1.8	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 塚原	・12月インシデント及び事故状況集計結果に基づき事業所毎の傾向から再発防止に向けた話し合い
事故再発防止委員会	R3.2.7	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	・1月インシデント及び事故状況集計結果に基づき事業所毎の傾向から再発防止に向けた話し合い
事故再発防止委員会	R3.3.6	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	・2月インシデント及び事故状況集計結果に基づき事業所毎の傾向から再発防止に向けた話し合い
身体拘束・虐待・苦情委員会	R3.3.6	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	・事業所における身体拘束・虐待・苦情に関する現状の情報 共有 ・サービス向上へ繋げるための具体的な取り組み
第三者委員会	R3.3.6	有馬、田中、関口 菊池、貝森、本間 田中（由）、塚原	・利用者からの苦情及び虐待に関する直接受付に向けた整備

(全体総括)

食事療法評価では、入居者様のBMIが+0.2%で、前回と体重変動の増減がほとんど無く推移している。2月に本部の管理栄養士に献立評価をして頂き、たんぱく質を上手に摂れる調理方法、高齢者に不足しがちな、栄養素の確認と献立チェックをしてもらいアドバイスにそって係の職員を中心に摂取工夫を検討した。次年度も反省と評価の中から献立や摂取工夫、個別対応に繋げていきたい。また、入院に関しては同じ方の入院が繰り返しているが、内科系疾患や認知症が重度な方が多く、体調不良時にどこまでホームでの生活ができるのかを病院と連携しながら進んでいきたい。その為、入居者の身体異変に早く気づけるよう日々のアセスメント力、観察力の強化などを取り組みに入れて勉強しながら実施していく。離職者を出さない職場環境作りでは、3月に退職をした職員が1名いた。反省として、心身状態のサポート体制の薄さや、面談不足も要因である。次年度は新人事考課も導入される為、悩みについてサポートできる体制作りをして離職に繋がらないようにしていきたい。今年度は感染症の蔓延で、外出、行事の中止、生活での制限も多く、職員も対策に気の抜けない事も多かったが次年度、ワクチン接種後どこまで緩和できるか検討し、入居者のQOLが下がらないよう事業計画を取り組んでいく。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
体調変動で、食事が食べられなくなると入院、退所に繋がっている	食事療法と健康に特化した良い取り組みを行う	BMI 低下3%以内	18名平均+0.2%	今年度実施した反省や、工夫点を次年度の献立や、調理に生かして食べる大切さを繋げていきたい
認知機能、身体機能が低下してきている	生活を楽しみ元気になる	入院者0名	入院者1名	次年度でも、生活の楽しみを重視したイベントや、認知症の方へのケアを重点とした計画の中で実施していきたい
仕事を負担に感じている職員がいる事で、離職に繋がる恐れがある	仕事が楽しくなる働き方と職場環境を作り離職に繋げない	離職者0名	離職者1名	職員との面談や、コミュニケーションを通して気軽に悩みを解決できる体制づくりをする。新人事考課にも繋げたい
入居者と一緒に楽しみながら、地域の人とのコミュニケーションを取りたい	笑顔になるコミュニケーションづくり	来所者数60名	来所者数0名 新型コロナウイルス感染予防のため地域の方は来所していない	ワクチン接種後に、地域の方と状況下での繋がり工夫を職員全体で検討し、メンバーのアクションに入れて取り組んでいく

【運営報告】

事業所名： グループホーム陽だまりの郷（さくら）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	274
延利用人数	R1	253	250	270	272	279	270	279	279	274	264	246	279	268
	R2	268	279	256	253	279	261	254	250	263	279	252	279	264
稼働率	R1	93.7%	89.6%	100.0%	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	103.3%	98.2%	94.6%	97.6%	100.0%	97.9%
	R2	99.3%	100.0%	94.8%	90.7%	100.0%	96.7%	91.0%	92.6%	94.3%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	3,148	3,007	3,222	3,270	3,327	3,253	3,395	3,193	3,378	3,049	3,138	3,408	3,232
	R2	3,295	3,466	3,213	3,164	3,494	3,296	3,608	3,262	3,548	3,552	3,207	3,352	3,371
当期資金収支差額 (単位：千円)		750	674	-265	110	762	594	937	491	-1,036	584	469	-5,390	-110
職員数	正規	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
	有期	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
	パート	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0

【運営報告】

事業所名： グループホーム陽だまりの郷（あじさい）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		270	279	270	279	279	270	279	279	279	279	252	279	275
延利用人数	R1	270	279	260	279	278	269	279	279	267	268	252	268	271
	R2	270	257	270	279	269	270	279	279	279	279	252	279	272
稼働率	R1	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	99.8%	99.8%	100.0%	100.0%	97.8%	98.0%	100.0%	98.0%	99.3%
	R2	100.0%	96.1%	100.0%	100.0%	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.5%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	3,263	3,382	3,161	3,397	3,367	3,350	3,284	3,183	3,386	3,322	3,533	3,326	3,329
	R2	3,359	3,246	3,394	3,505	3,400	3,391	3,922	3,454	3,668	3,575	3,229	3,381	3,460
当期資金収支差額 (単位：千円)		-230	-519	-1,084	-501	-29	-61	496	71	-2,249	-137	-105	-556	-409
職員数	正規	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
	有期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
	パート	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4.1

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：グループホーム 陽だまりの郷

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
陽だまりの郷 全体会議	R3.1.29	ホーム長、安部、 鍵市、浅野、曾我 部、高橋瞳、得 能、古瀬、高橋 良、竹内、堀口、 高橋ゆ、吉井	ホーム長、係長からの報告、各ユニット状況報告、各係 委員会からの報告、全体通しての報告
陽だまりの郷 全体会議	R3.2.8	ホーム長、安部、 鍵市、浅野、高橋 瞳、得能、山口、 高橋良、堀口、後 藤	ホーム長、係長からの報告、各ユニット状況報告、各係 委員会からの報告、全体通しての報告
陽だまりの郷 全体会議	R3.3.8	ホーム長、安部、 鍵市、浅野、高橋 瞳、得能、山口、 高橋良、堀口、後 藤	ホーム長、係長からの報告、各ユニット状況報告、各係 委員会からの報告、全体通しての報告
さくら会議	R3.1.15	安部、鍵市、高橋 瞳、得能、古瀬、 曾我部、三浦、山 口	モニタリング・業務報告・連絡・検討 アメンバー打ち合わせ、行事評価、計画、次月予定の打 ち合わせ
さくら会議	R3.2.25	安部、鍵市、高橋 瞳、得能、古瀬、 曾我部、三浦、山 口	モニタリング・業務報告・連絡・検討 アメンバー打ち合わせ、行事評価、計画、次月予定の打 ち合わせ
さくら会議	R3.3.19	安部、鍵市、高橋 瞳、得能、古瀬、 曾我部、三浦、山 口	モニタリング・業務報告・連絡・検討 アメンバー打ち合わせ、行事評価、計画、次月予定の打 ち合わせ
あじさい会議	R3.1.15	安部、浅野、高橋 良、竹内、堀口、 後藤、高橋ゆ、吉 井	モニタリング・業務報告・連絡・検討 アメンバー打ち合わせ、行事評価、計画、次月予定の打 ち合わせ
あじさい会議	R3.2.25	安部、浅野、高橋 良、竹内、堀口、 後藤、高橋ゆ、吉 井	モニタリング・業務報告・連絡・検討 アメンバー打ち合わせ、行事評価、計画、次月予定の打 ち合わせ
あじさい会議	R3.3.17	安部、浅野、高橋 良、竹内、堀口、 後藤、高橋ゆ、吉 井	モニタリング・業務報告・連絡・検討 アメンバー打ち合わせ、行事評価、計画、次月予定の打 ち合わせ

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染対策委員会	R3.2.8	安部・浅野・三 浦・禎島看護師	先月の感染状況・近郊の感染状況・コロナウイルスに対 する備蓄品の確認等
感染対策委員会	R3.3.9	小玉・浅野・禎島 看護師	先月の感染状況・近郊の感染状況・コロナウイルスに対 する備蓄品の確認等・年度反省と次年度の引継ぎ
リスクマネジメント委員 会	R3.1.20	安部、山下・得 能・高橋良治	事故・気づき確認・事故に関するリスクマネーメン トについて
リスクマネジメント委員 会	R3.2.3	安部、山下・得 能・高橋良治	事故・気づき確認・事故に関するリスクマネーメン トについて
リスクマネジメント委員 会	R3.2.22	安部、山下・得 能・高橋良治	全体研修の打ち合わせ、アンケート集計

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
リスクマネジメント委員会	R3.3.30	安部・山下・得能・高橋良治	年度の反省と次年度の引継ぎ
身体拘束適正委員会	R3.1.20	安部・山下・高橋良治・高橋瞳	第三者委員会報告 苦情について、研修について
身体拘束適正委員会	R3.2.3	安部・山下・得能・高橋良治	苦情について、研修について、
身体拘束適正委員会	R3.2.22	安部・山下・得能・高橋良治	全体研修の打ち合わせ、アンケート集計
身体拘束適正委員会	R3.3.30	安部・山下・得能・高橋良治	年度の反省と次年度の引継ぎ
食事係	R3.1.18	安部・前田・堀口・高橋瞳	2月の節分、喫茶レク、献立作成について、旬の料理、正月メニューの反省
食事係	R3.2.4	安部・渋谷・堀口・山口	3月の献立、開所式メニュー、3月旬の料理の打ち合わせ、予定について
車輛防災委員会	R3.2.26	小玉・鍵市・古市・高橋良治	車両の確認・前回の避難訓練の反省・施設内の防災点検・内部研修の反省
車輛防災委員会	R3.3.18	小玉・鍵市・花谷・高橋良治	車両の確認・前回の避難訓練の反省・施設内の防災点検・今年度の反省

研修

研修名	実施日	参加者	内容
中空知レクリエーション 楽園	R2.10.13 ～ R3.3.16	得能 美智子	機能向上の為のレク、余暇レクなどの習得
認知症ケア研究会研修	R3.1.24	安部 亜紀子	run伴から考える認知症フレンドリーな街作り、コ ロナ禍における認知症の方の環境支援、コロナ禍が 認知症支援に与えること、抗認知症薬の理解など
ソエルクラブ 新人研修	R3.2.18	古瀬 健人	連絡・報告・相談について、介護職員としてのマ ナーについて、グループワーク
ソエルクラブ リーダー研修	R3.2.19	竹内 里菜	上司、部下との連携について、チームをまとめる手 法、リーダーに求められるもの、グループワーク
陽だまりの郷内部研修 車両防災委員による水 害、雪害、防犯研修	R3.1.26	安部、鍵市、浅 野、高瞳、得 能、古瀬、曾我 部、高橋良、竹 内、堀口、高橋 ゆ、吉井	水害暴風雪への対策、車の浸水時の脱出方法、吹雪 での走行や、緊急時の対応、施設の防犯対策、防犯 対策マニュアルについて
陽だまりの郷内部研修 実践者研修参加者によ る認知症研修	R3.2.8	安部、鍵市、浅 野、高瞳、得 能、高橋良、竹 内、堀口、後藤	日本の高齢者施策と認知症介護研修の位置づけ、 BPSDのおこる原因、中核症状と周辺症状、好まし くないケアの例、尊厳について、自施設実習報告な ど
陽だまりの郷内部研修 リスクマネージメン ト、身体拘束適正化員 による研修	R3.3.8	安部、鍵市、浅 野、高瞳、得 能、山口、高 橋良、堀口、後 藤	令和2年度の事故についての集計結果、検討報告、 身体拘束の職員アンケート結果について、緊急時の 対応につて、救急車を呼ぶときの対応、苦情につい ての対応方法など

令和2年度（1月～3月） 行事 事業所名： グループホーム 陽だまりの郷

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
新年会	R3.1.15	26名	安部、鍵市、浅野、古瀬、三浦、山口、高良、竹内、高ゆ、入居者18名
節分	R3.2.2	25名	安部、高瞳、古瀬、三浦、浅野、高良、堀口、入居者18名
バレンタインレク	R3.2.14	24名	鍵市、古瀬、堀口、浅野、高良、吉井、入居者18名
ひな祭りレク	R3.3.3	25名	安部、高瞳、曾我部、山口、浅野、高良、高ゆ、入居者18名
ホワイトデー	R3.3.14	25名	鍵市、高瞳、曾我部、浅野、後藤、吉井、入居者18名
ラーメンレク	R3.3.24	25名	安部、得能、曾我部、三浦、浅野、後藤、吉井、入居者18名
開所式・喫茶レク	R3.3.26	25名	安部、鍵市、高瞳、得能、浅野、竹内、高ゆ、入居者18名

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者

(全体総括)

今年度を振り返ると、施設入所は4名と例年に比べて少なかったが、体調を崩しての3名の方が入院し亡くなったり、療養型医療施設に移行した方もいた。在宅のサービスの中ではトータル的なケアができるので、当事業所を選んで利用につながるケースもあるが、重度の認知症の方が利用するケースもあり、家族の介護負担、利用者の命を守る、尊厳を守るケアをする難しさも感じた一年であった。新型コロナウイルスの予防に努めながら利用者にとどのように楽しみを持っていただくかを考え、室内のレクのバリエーションアップやレクカレンダーの作成、おやつ作り、工作などを多く取り入れてきた。また感染予防のため、職員の精神的な負担もあり、職員の有給消化などで気分転換を図れるようにしていたが、今後も続く感染予防の取り組みで心労で疲弊をしないよう、職員の楽しみも考え来年度は取り組んでいきたい。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
認知症予防・進行予防に努める。	認知症症状悪化による施設入所者数0名	0名	1名 ①認知症の進行により、徘徊があり、自宅に戻れなくなる心配もあり施設入所となった	認知症予防の取り組みの学習療法は今後も続けていく。またそれ以外の認知症予防の取り組みも職員と相談し新たな取り組みも次年度行う。
退院後の受け入れ体制の整備・体調管理を行う。	稼働率	92%以上	1月 96.6% 2月 92.4% 3月 94.2% 今年度の稼働率の平均は96.1% 前年度より下がっています	3名の方が入院し2名の方が病院との連携をとり退院しているが、1名は治療が長引きそのまま利用終了となった
(陽だまり共有) 離職を減らすための環境づくり	離職率	0名	2名	長く勤務していた職員が2名退職となった。家庭の事情もあるが、どのような職場であれば、長く勤務してもらえるか、やりがいをもっていただけるかを考えて行きたい。
(陽だまり共有) 地域の方が集える環境づくり	来所者数	年間で60名	0名 新型コロナウイルス予防のため地域の方の来所はない	町内の除雪ボランティアに参加した

【運営報告】

事業所名： 小規模多機能ホーム陽だまりの郷

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		870	899	870	870	899	870	899	870	899	899	812	899	880
延利用人数	R1	870	882	850	851	886	870	882	850	898	868	789	866	864
	R2	842	868	840	844	868	840	878	870	878	868	750	847	849
稼働率	R1	100.0%	98.1%	97.7%	97.8%	98.6%	100.0%	98.1%	97.7%	99.9%	96.6%	97.2%	96.3%	98.2%
	R2	96.8%	96.6%	96.6%	97.0%	96.6%	96.6%	97.7%	100.0%	97.7%	96.6%	92.4%	94.2%	96.5%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	6,723	6,168	6,261	5,503	6,071	7,461	6,720	6,771	6,997	6,394	5,958	6,928	6,496
	R2	6,527	6,471	7,012	6,237	6,622	6,712	7,257	7,449	6,268	7,428	6,099	6,196	6,690
当期資金収支差額 (単位：千円)		2,052	1,948	100	945	2,078	1,984	2,639	2,724	-2,455	2,359	1,539	-1,620	1,191
職員数	正規	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0
	有期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
	パート	8	8	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	6.5

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：小規模多機能ホーム 陽だまりの郷

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
陽だまりの郷 全体会議	R3.1.29	ホーム長、安部、 鍵市、浅野、曾我 部、高橋瞳、得 能、古瀬、高橋 良、竹内、堀口、 高橋ゆ、吉井	ホーム長、係長からの報告、各ユニット状況報告、各係 委員会からの報告、全体通しての報告
陽だまりの郷 全体会議	R3.2.8	ホーム長、安部、 鍵市、浅野、高橋 瞳、得能、山口、 高橋良、堀口、後 藤	ホーム長、係長からの報告、各ユニット状況報告、各係 委員会からの報告、全体通しての報告
陽だまりの郷 全体会議	R3.3.8	ホーム長、安部、 鍵市、浅野、高橋 瞳、得能、山口、 高橋良、堀口、後 藤	ホーム長、係長からの報告、各ユニット状況報告、各係 委員会からの報告、全体通しての報告
ユニット会議	R3.1.20	小玉・花谷・山 下・渋谷・前田・ 古瀬・禎島・船木	モニタリング、行事反省、次回行事役割分担・業務改 善、担当者会議
ユニット会議	R3.2.19	小玉・花谷・山 下・渋谷・前田・ 千咲都・禎島・船 木	モニタリング、行事反省、次回行事役割分担・業務改 善、担当者会議
ユニット会議	R3.3.22	小玉・花谷・山 下・渋谷・前田・ 千咲都・禎島	モニタリング、行事反省、次回行事役割分担・業務改 善、担当者会議

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染対策委員会	R3.2.8	安部・浅野・三 浦・禎島看護師	先月の感染状況・近郊の感染状況・コロナウイルスに対 する備蓄品の確認等
感染対策委員会	R3.3.9	小玉・浅野・禎島 看護師	先月の感染状況・近郊の感染状況・コロナウイルスに対 する備蓄品の確認等・年度反省と次年度の引継ぎ
リスクマネジメント委員 会	R3.1.20	安部、山下・得 能・高橋良治	事故・気づき確認・事故に関するリスクマネーজে メントについて
リスクマネジメント委員 会	R3.2.3	安部、山下・得 能・高橋良治	事故・気づき確認・事故に関するリスクマネーজে メントについて
リスクマネジメント委員 会	R3.2.22	安部、山下・得 能・高橋良治	全体研修の打ち合わせ、アンケート集計
リスクマネジメント委員 会	R3.3.30	安部、山下・得 能・高橋良治	年度の反省と次年度の引継ぎ
身体拘束適正委員会	R3.1.20	安部・山下、高橋 良治・高橋瞳	第三者委員会報告 苦情について、研修について
身体拘束適正委員会	R3.2.3	安部、山下・得 能・高橋良治	苦情について、研修について、
身体拘束適正委員会	R3.2.22	安部、山下・得 能・高橋良治	全体研修の打ち合わせ、アンケート集計

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
身体拘束適正委員会	R3.3.30	安部、山下・得能・高橋良治	年度の反省と次年度の引継ぎ
食事係	R3.1.18	安部・前田・堀口・高橋瞳	2月の節分、喫茶レク、献立作成について、旬の料理、正月メニューの反省
食事係	R3.2.4	安部・渋谷・堀口・山口	3月の献立、開所式メニュー、3月旬の料理の打ち合わせ、予定について
車輻防災委員会	R3.2.26	小玉・鍵市・古市・高橋良治	車両の確認・前回の避難訓練の反省・施設内の防災点検・内部研修の反省
車輻防災委員会	R3.3.18	小玉・鍵市・花谷・高橋良治	車両の確認・前回の避難訓練の反省・施設内の防災点検・今年度の反省

研修

研修名	実施日	参加者	内容
陽だまりの郷内部研修 車輻防災委員による水 害、雪害、防犯研修	R3.1.26	安部、鍵市、浅 野高瞳、得能、 古瀬、曾我部、 高橋良、竹内、 堀口、高橋ゆ、 吉井	水害暴風雪への対策、車の浸水時の脱出方法、吹雪 での走行や、緊急時の対応、施設の防犯対策、防犯 対策マニュアルについて
陽だまりの郷内部研修 実践者研修参加者によ る認知症研修	R3.2.8	安部、鍵市、浅 野、高瞳、得 能、高橋良、竹 内、堀口、後藤	日本の高齢者施策と認知症介護研修の位置づけ、 BPSDのおこる原因、中核症状と周辺症状、好まし くないケアの例、尊厳について、自施設実習報告な ど
陽だまりの郷内部研修 リスクマネージメン ト、身体拘束適正化員 による研修	R3.3.8	安部、鍵市、浅 野、高瞳、得 能、山口、高 橋良、堀口、後 藤	令和2年度の事故についての集計結果、検討報告、 身体拘束の職員アンケート結果について、緊急時の 対応につて、救急車を呼ぶときの対応、苦情につい ての対応方法など
認知症ケア研究会研修	R3.1.24	小玉	run伴から考える認知症フレンドリーな街作り、コ ロナ禍における認知症の方の環境支援、コロナ禍が 認知症支援に与えること、抗認知症薬の理解など
認知症ケア研究会研修	R3.2.27	小玉・船木	韓国における認知症のケア
認知症ケア研究会研修	R3.3.13	小玉・船木	身体拘束適正化・虐待防止のための職場内研修の持 ち方

令和2年度（1月～3月） 行事 事業所名： 小規模多機能ホーム 陽だまりの郷

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
新年会	R3.1.15 R3.1.16	27名	利用者27 職員10
豆まき	R3.2.1 R3.2.2	35名	利用者25 職員11
陽だまりの郷 開所記念式	R3.3.26 R3.3.27	37名	利用者27 職員10

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者